

## ☆第10回 学年朝礼

7月4日(木)、3名の生徒スピーチのあと、学級担任の先生より「正しい場所で、正しい方向で、十分な量をなされた努力は裏切らない」というお話がありました。

### 「水泳について」

1組

おはようございます。僕は今年も水泳のことを話したいと思います。

今年の授業では個人メドレーまでやるそうなので泳げない人からしたらだいぶキツイのではないかと思います。だから、4種目の中で1番難しそうなバタフライについて話したいと思います。僕的には、手より足の方がきついと思うので、授業中での足の練習を説明したいと思います。ビート板を使ってのキックは、足だけじゃなくて体を使うのがいいと思います。特に胸あたりを重心に考えて水の斜め下前の方に波に乗るようにキックを打つことが大事です。次の水泳の授業は2学期なので忘れていますがみんな頑張ってください。

### 「メンデルについて」

2組

みなさん、メンデルって知っていますよね。あの遺伝の人です。しかし、メンデルの法則が発見される前、すでに日本では遺伝の法則について知っていた人たちがいました。

それは、江戸時代のアサガオ職人たちです。江戸時代の後期に、庶民の間で「変化朝顔」というアサガオの色や形を人為的に品種改良させたものが流行りました。品種改良をするためには遺伝の法則を知っていなければなりません。そして、変化朝顔の作成技術は当時、全世界で最も高度な遺伝子学的知識だったと考えられています。しかし、商売のためか、その遺伝学的知識はアサガオ職人たちの間で「秘伝」とされたため、世界に知られることはありませんでした。

もしその技術が秘伝とされなければ、遺伝学の歴史が大きく変わっていたかもしれません。技術や知識はたくさんの人に知られて、さらに発展するものという性質があるのではないのでしょうか。

だから、有益な情報はもっと世に発信するべきだと思いました。

ありがとうございました。

### 「フライトで快適に過ごす方法について」

3組

来週からシンガポール修学旅行です。シンガポールまでは約7時間と長時間のフライトです。そこで私は長時間のフライトで快適に過ごす方法についてを紹介します。

1つ目は、締め付けの少ない服装を選ぶこと。 2つ目は、時間を潰せるものを用意すること。

3つ目は、水分補給をしっかりとすること。 4つ目は、時々体をほぐすことです。

この4つのこと以外に耳栓やスリッパを使うことなどが有効です。これらのようなことをして飛行機内を快適に過ごしましょう。

## ☆夏休みに向けて

受験生の夏です。後悔しないよう過ごすために、過ごし方のポイントを紹介します。

### ☑ 生活のリズムを崩さない

休みの日になると夜更かしをしたり、遅く起きたり…生活リズムが崩れてしまう人がいますが、普段の学校がある日のように朝起きて活動をしてください。外の暑さや、冷房で体が冷え、夏バテ等で体調を崩しやすい時期ですので、バランスよく食事を摂り、しっかり睡眠時間を確保し、健康管理には十分に気を配ってください。

### ☑ 1・2年生、今年度の1学期の復習を行う

夏休みはまとまった時間の取れる絶好の機会です。基礎固めをして苦手克服していきましょう。基礎的なところから始め、分からなくなった部分をしっかりとやり直して着実に進めてください。そのためにも計画的に勉強を進めていくことが大切です。具体的な目標を立てることや、進捗状況を見える化していくことで毎日積み重ねていきやすくなります。

### ☑ 学校見学・オープンスクールに参加する

夏は学校見学・オープンスクールを開催している学校が多くあります。参加してみて、自分のやりたいことができるのか、校風・雰囲気・教育方針は自分に合うのか確認してください。学校見学に行くことで、今の自分の頑張りの先にいる自分を描くことができ、モチベーションアップにも繋がります。

## ☆9月始めの予定

日	曜	予定	給食	備考
2	月	始業式 全校集会 学活(提出物回収など) 数楽コンテスト 避難訓練(集団下校)	×	
3	火	ふれあい面談⑥カット 45分時程	○	
4	水	区教研(教員出張)④カット 英会話教室 45分時程	○	
5	木	ふれあい面談⑥カット 45分時程	○	
6	金	御成門小学校児童体験入学⑥~放 45分時程	○	
7	土	授業日 身近な街のコンサート	×	

# ☆修学旅行に行ってきました

7月8日(月)～12日(金)シンガポール修学旅行に行ってきました。5日間通じて事前に聞いていた「危険な暑さ」というほどではなく、時々スコールに降られながらも、しっかりと日程通りの行動をすることができました。生徒の皆さんは、お家でしっかりとお土産話をできたでしょうか。「モノより思い出」です。楽しかったこと、大変だったこと、など、ぜひご家族の皆さんと共有してください。

『修学旅行を振り返って』というテーマで作文を書きました。生徒たちの作文を紹介します。

## 「心あたたまるシンガポール」

### 1組

待ちに待ったシンガポール修学旅行は、想像を超える楽しいことで溢れていた。2日目の現地学生との交流では、たったの数時間がまるで何カ月も一緒にいたような気分で仲良くなれて、別れがとても名残惜しかった。3日目のセントーサ島では、たくさんの自然に触れ合え、USSでは同じ乗りものに乗っていた女の子がレインコートの中に少しいれてくれたり、「これから落ちるよ」などと英語で教えてくれたりした。4日目は、通りすがりの人が「写真を撮りましょうか」と親切に声をかけてくれた。あつという間の5日間だったが、私は改めて人とのつながりはとても温かいなと感じた。私たちの修学旅行は多くの人のサポートがあつてのもので、そのつながりの中で、「感謝」が生まれ、その先に「感謝」し合える「助け合い」の関係が築けるのだと思えた。修学旅行は、シンガポールに行って終わりではなく、そこで実際に学んだことや肌で感じたことを、これからの生活に役立てていくことが大切だ。私はこれから、人とのつながりを意識して生活したい。残り半分を切りそうになった中学校生活で、もっといろいろな人に挨拶しようと思えた。知らない人でも困っていたら自分から声をかけようと思えた。こういう思いが他の人にも伝わっていけば、きっと「助け合える」あたたかい生活を築けるだろう。私がやるべきことは「思う」だけで終わりにせず、「行動」に移すことだ。

## 「修学旅行」

### 2組

私はこの修学旅行で海外に行く大変さがわかりました。海外に行くには飛行機に乗ります。飛行機に乗る前には荷物の検査があつてその荷物検査に引っかけられないかすごくソワソワしていました。持っていったはいけないものはかばんから抜いたはずでも、もしかしたら入っているかもしれないとずっとドキドキしていました。また、海外に行くということは、話す言語も食べる物も空気とかも全てが変わってしまうからすごく大変でした。それだけではなく修学旅行なので学年のみんなで行くから待ち時間も多かったのが大変でした。

私はこの修学旅行で印象に残ったこともあります。それは現地学生との交流です。現地学生とは2日間交流できたけど、イングリッシュチャレンジの日に交流した学生さんは、ずっと英語を使って交流しました。私は完璧な英語は話せないなのでグーグル翻訳に頼ろうとしましたが、WiFiがなくて使えませんでした。だから、自分が知っている単語を並べて会話をしました。意外にも通じたのですごくびっくりしました。

私は、この修学旅行を通して改めて海外に行き、自分の国と違う文化に触れる重要さを学びました。食事や言語も合わなくてなれないことだらけで大変でしたがこれを機に、これから他の国についても知りたいと思いました。この修学旅行を活かして生活していきたいです。

## 「異国での生活」

### 3組

今年から港区立中学校は海外へ修学旅行へ行くと聞いて、とても不安だったしはっきり言って不満しかなかったが、貴重品を失くすことも怪我や病気になることもなく無事日本に帰ってくることで本当に良かったと心からそう思う。この修学旅行で学んだことや印象に残ったことは他言語を使って相手に物事を伝えることの難しさと、私たちはたくさんの人に支えられて生活できていることの2つである。

私たちは主に2日目と4日目に現地大学生と英語で会話しながらシンガポールを散策した。その時に「ここに行きたい!」「こんな感じにお土産が買いたい!」などの意思表示やおすすめのお土産や目的地についてといった質問が上手くできなかった場面が多くあった。日本語なら伝えられるのに、とどこかしく感じるばかりで、使い慣れていない言語を使って意思疎通を図ろうとすることの難しさを痛感した。

また、印象的だったのは関わっている人の多さだ。先生方はもちろん、旅行会社の方や教育委員会の方、現地のガイドの方々などたくさんの人の協力のおかげでこの修学旅行は成功したのだと思うと感謝が尽きない。

長いようで短かった修学旅行は一日一日がとても濃く、心身共に成長できたと思う。この修学旅行で学んだことや身についたことを卒業しても忘れずに今後の生活に活かしていきたい。

